

研究調査運営委員会レポート

◆調査専門委員会および協同研究委員会 委員の公募◆

| | | | |
|--------------------------|----------------|--|---|
| 委員会名 【技術委員会】 | | 内外の高速鉄道技術の相違と特徴に関する 調査専門委員会 【交通・電気鉄道技術委員会】 | 委員会での調査・検討項目の概要、 委員長のメッセージ等 |
| 設置期間 | | 平成 21 年 9 月～平成 24 年 8 月 | 近年、東アジアを中心に高速鉄道の海外展開を行われ、営業が開始している。これに伴い貴重な経験が培われたところである。 |
| 委員長名（所属） | | 奥谷 民雄 (レールウェイエンジニアリング株式会社) | |
| 委員会開催頻度 | | 6回/年 | 本委員会ではこれら知見の有効活用のため、国内外の高速鉄道技術の調査等を行い、今後の技術開発や海外展開、国際規格審議に貢献する基礎としたい。 |
| 問合 ・ 公募 受付 先 | 氏名（所属） | 奥谷 民雄 (レールウェイエンジニアリング) | |
| | 電話 | 045-222-9033 | |
| | FAX | 045-222-9095 | |
| | E-mail アドレス | tam.okutani (at) jrtt.go.jp | |
| 応募いただきたい方の 専門分野、経験など | | 高速鉄道技術に関する知識、経験 | |
| 応募締切 | | 平成 22 年 4 月 30 日 | |
| 協同研究委員会の場合の委員の負担 | | | 0 円/年 |

編集後記

このニュースレターが届く頃には、涼しく食べ物がおいしい季節になっていることかと存じますが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、今月のニュースレターでは、来年度に産業応用部門が主催する 2 つの行事についての案内を巻頭に掲載しております。次回の産業応用部門大会は、東京の芝浦工業大学豊洲キャンパスで開催されます。そして 6 月には 5 年に一度の国際会議 IPEC が札幌にて開催されます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

国際会議レポートでは、産業応用部門と Korean Institute of Power Electronics (KIPE) 双方の半導体電力変換技術委員会が合同で開催した国際研究会について長岡技術科学大学の伊東先生にご報告頂きました。現在積極的に進められている国際化の先導的事例として、今後の更なる発展が期待されます。

技術開発レポートでは、世界最高速エレベータに用いられたアクティブ制振技術が騒音対策のため、現在どのように展開されているかを東芝の平井様にご紹介頂きました。

研究グループ紹介では、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の坂井先生に橋本・坂井・坂東研究室の活動をご紹介いただきました。科学観測を目的とした衛星プロジェクトの現場において工学者が誘導・制御技術の研究開発をどのように進めているかを伝える興味深い内容となっています。

また、産業応用部門誌平成 21 年 11 月号特集「回転機技術特集号」についての予告を掲載しております。産業の基盤を担う回転機技術およびその周辺技術についての最新成果が掲載される予定であり、次号が大変楽しみです。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、記事をご執筆いただいた皆様、ならびに編集作業に携わっていただいた多くの皆様に厚く御礼申し上げます。

エディタ 辻 俊明 (埼玉大学)

※ 本文中の E-mail アドレスをご利用になる場合には、“(at)”を“@”に置き換えてください。